様式３(2020.08改)

作成日　令和3年10月5日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス東名ながくて

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	これまでは、地域の祭や各種の教室(体操、カラオケ等)、敬老会、作品展と、参加できる行事には積極的に参加して地域交流を図ってきた。 ほとんどの行事が中止される中、散歩中に地域住民と挨拶を交わすなど、関係が途切れないよう支援している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は、年間6回のうち1回は市･長寿課職員2名、民生委員3名の参加を得て、対面で通常開催して意見交換を行った。 残りの5回は電話でホームの状況を伝え、市からは様々な情報提供を受けている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	運営推進会議への参加や、コロナ支援物資が市から配給される際には市･長寿課職員が来訪しており、情報提供を受け意見交換している。 生活保護受給者に対しても福祉課職員の親身な関わりがあり、行政が身近な存在となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	利用者は日常的にやりたい事、できる事を職員に伝えており、職員はその実現に努めている。 家族とは来訪時や電話で意見交換しており、家族から建設的な意見や提案を受けて良好な関係を築いている。 「サポートハウス通信」は毎月の発行である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は、年間6回のうち1回は市･長寿課職員2名、民生委員3名の参加を得て、対面で通常開催した。
残りの5回は電話開催である。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									